

■渡辺国武 官僚政治家。<日清戦争>前後の蔵相として多くの業績を上げるも、偏狭さが禍いして失意の晩年となった。

わたなべくにたけ

孝明天皇・・・1846＝ 信州諏訪郡長地村(長野県岡谷市長地)で、高島藩士渡辺政徳の次男に生まれる。渡辺千秋の弟。

両親と早く死別したため、兄とともに、祖母の手で育てられ、

ペリー来航・1853＝ 7歳：

安政大地震・1855＝ 9歳：コレラに罹って、九死に一生。

桜田門外変・1860＝14歳：

幕末、江戸に出て国事に奔走、同じ信州出身の兵学者佐久間象山に学ぼうとするが、

禁門の変・・・1864＝18歳：象山が暗殺されたため、江戸藩邸に勤務しながら、フランス語などを学び、

明治維新・・・1868＝22歳： 京都御所の警備のため、藩主に従って上洛。たまたま鑑札無しで御所に入ろうとした大久保利通を咎め、かえって信任を得るようになり、

廃藩置県・・・1871＝25歳： 廃藩置県後、伊那県に出仕すると、知事をしていた大久保から、兄とともに東京に呼び出され、民部省庶務少佐、

明治6年政変 1873＝27歳：大蔵省権中録を経て、

佐賀の乱・・・1874＝28歳：大蔵省租税寮に移り、地租改正事業に従事、

自由民権運動が澎湃してくると、

三つの反乱・1876＝30歳： *高知県権令として派遣され、立志社員を県庁内から追放し連合区会の設立を不認可とするなど、弾圧。

西南戦争・・・1877＝31歳： 西南戦争に高知県が西郷軍に呼応して挙兵する動きも阻止して、

大久保暗殺・1878＝32歳： 県令に昇進するも、

琉球処分・・・1879＝33歳： 県下の4郡合併を専決施行して譴責を受け、依願免官となる。

一時京都に転居、その間一切経を読破し、東西の哲学に親しんだ。

明治14年政変 1881＝35歳： 政変によって、目をかけられていた松方正義が大蔵卿になったこともあって、福岡県令として官界復帰、

新体詩抄・・・1882＝36歳： *松方の引きで、大蔵省調査局長に転じ、

帝国大学始・1886＝40歳： 主計局長を経て、

初の対等条約 1888＝42歳： 蔵相松方正義のもとで大蔵次官となり、第一議会ででの議会对策で頭角を現わす。

帝国憲法発布 1889＝43歳：

足尾鉾毒始・1891＝45歳： 第1次松方内閣が、

大本教・・・1892＝46歳： *総辞職に追い込まれたのちの第2次伊藤内閣では、下馬評を覆して、蔵相に抜擢され、

郡司千島探検 1893＝47歳： 貨幣制度調査会を設置して金本位制実施を準備し、

日清戦争始・1894＝48歳： <日清戦争>中は戦時財政を担当して国庫剰余金と公債、特別資金の繰入れにより戦費を調達した。

日清戦争終・1895＝49歳： その功により子爵。

一時通相に転じるが、蔵相に復帰して日清戦後経営の大綱を立案、第9議会で軍備拡張計画、製鉄所創設、鉄道建設、教育事業の拡充などの諸事業を実現し、財源として新しく登録税・営業税・葉煙草専売の創設や酒造税の増税などを推進した。

ビア/国産化・1900＝54歳： 伊藤博文が立憲政友会の創立に着手すると創立委員長となり、第4次伊藤内閣には伊藤首相が予定した井上馨を排除して蔵相に就任、第15議会に提出した増税案が貴族院の抵抗にあい、詔勅によって乗切るも、

田中正造直訴 1901＝55歳： *翌34年度、35年度の財政計画をめぐってその極端な緊縮方針に政友会出身閣僚らが反発し、閣内不統一のため内閣崩壊の因をつくり、辞表提出を拒否して、論旨免官となり、失脚に至る。

日露戦争終・1905＝59歳：

以後、信州派のリーダーとして政界への影響力を行使しようとしたが、その偏狭さが禍いして信頼を失い、失意の晩年を過ごし、

伊藤博文暗殺 1909＝63歳：

明治天皇没・1912＝66歳：

脳卒中の発作を起こすも、一命をとりとめ、以後、麻布の屋敷や伊豆の別荘で療養につとめながら、

本格政党内閣 1918＝72歳：

ベルサイユ条約・1919＝73歳： 没した。